

留学報告書 Kent State University

2023 年 8 月 - 2024 年 5 月 (Academic Year)

留学の目的

留学の目的は「語学力の向上だけでなく、様々な困難を乗り越えることで自身を成長させること」でした。私は元々英語に興味があり、将来は英語を使って働きたいと強く考えていました。また、海外を相手に働くのであれば、今の弱い自分のままではダメだと思っていたことがこの留学を志した大きなキッカケでした。人は困難を乗り越えてこそ成長できると信じていたので、その意味では留学に行くことは最高の選択肢でした。

学業

留学全体を通して、主に自分の専攻である言語学の授業を履修しました。加えて、ずっと興味のあったビジネス系の科目も履修し、自分の視野を広げることができました。特に、秋学期には言語獲得の分野で大学院の授業を履修し、修士や博士を目指すクラスメイトと切磋琢磨しました。毎日図書館に籠もって勉強する日々でしたが、この環境は確実に自分を高めてくれました。



言語獲得のクラスの教授とクラスメイト

課外活動

JCEC(Japanese Culture Exchange Club)と ACC(Asian Culture Club)に参加し、それぞれ週に一回ある活動に毎週参加していました。現地で一緒に過ごした友人のほとんどは、この2つのクラブで出会いました。定期的と一緒に遊びに行ったり、Movie Night を開催したりと、楽しい時間を過ごしました。秋学期には JCEC で Temporary Officer としてクラブ運営に携わり、隔週でミーティングに参加したり、私主導のイベントを開催したりしました。授業や課題で忙しい中でイベントの準備をすることは簡単ではありませんでしたが、今学期で一番盛り上がったイベントになったと参加者や他の Officer から言われた時は、本当にやりがいを感じました。

寮生活

私の寮は治安が悪く、大麻のニオイがするのは日常茶飯事で、時々警察も来ていました。寮には共用キッチンがありましたが、10 階建ての大型寮でパーティールーム内に設置されており、衛生環境が悪かったため、滅多に使うことはありませんでした。ミールプランを持っていたので、食事は基本的にキャンパス内のカフェテリアで済ませていました。ルームメイトは留学生に対して理解があり、拙い英語でも聞き取ろうとしてくれたり、分からない表現を説明してくれたり、非常に優しく接してくれました。彼は時々大麻を吸っていたので、その時はニオイで頭痛がしましたが、それを除けば本当に良いルームメイトでした。

友人関係

基本的には JCEC や ACC で会った現地の友人と過ごしていました。買い物に行く時は車を出してくれたり、休日には現地のイベントに誘ってくれたり、私の留学生生活を充実させてくれました。現地には日本人が十数人ほどいましたが、関わりは限定的で全体の 1 割程度でした。現地で出来た友人たちのおかげで、英語に最大限触れることができました。私と関わってくれた友人全員に心から感謝しています。



留学後の変化

この留学を通して様々な価値観が変化しましたが、特に自身のキャリア観が大きく変わったと感じています。実力主義・自己責任が強く求められる過酷な環境や、大きな貧富の差を目の当たりにし、この世界で生き残るためには何としても実力を身に付けなければならないと強く感じました。自己投資を惜しまず、自分を成長させるためにどんなことでもしようと思います。

総括

留学の目的の欄に記載した通り、私は「人は困難を乗り越えてこそ成長できる」と信じています。この約1年間の留學生活の間、この言葉を胸に多くの挑戦に身を投じました。レベルの高い授業を履修したことや、その授業についていくために日々勉強したこと、またクラブの運営に携わったことなど、様々な困難に立ち向かい、それらを乗り越える経験ができました。それらの経験は私を確実に成長させてくれました。得られた経験と気づきを糧に、今後も自己投資を惜しまず、スキルと人間力を高めていく所存です。